

# 平成 26 度加東市環境審議会議事録

## 【平成 26 年度第 4 回環境審議会】

1. 日時：平成 27 年 3 月 9 日（月）13:30～14:15
2. 場所：庁舎 402 会議室
3. 出席者：  
審議会員 三木会長、上月委員、藤本委員、宮崎委員、山本委員、  
上羅委員、田村委員 渥美委員 國井委員 以上 9 名  
加東市 吉田副市長、阿江部長、眞海課長、杉本副課長、長谷川主査  
以上 5 名
4. 議事録
  - (1) 開 会  
事務局 平成 26 年度 4 回加東市環境審議会にご出席有難うございます。  
開会にあたりまして、吉田副市長より挨拶を申し上げます。
  - (2) あいさつ  
副市長 【 あいさつ 】  
事務局 資料の確認 本日配布資料 事前送付資料  
加東市環境審議会委員総数 11 名のうち、9 名の委員が出席。  
加東市環境審議会規則第 5 条第 3 項の規定により、委員総数の過半数  
により審議会が成立していることを報告する。  
加東市環境審議会規則第 5 条第 1 項の規定により、当審議会の議長は  
会長が務める旨を説明する。
  - (3) 諮 問  
副市長 【平成 27 年 3 月 9 日付け諮問第 17 号、18 号、19 号を朗読後、  
会長へ手渡す】
  - (4) 議 事  
事務局 【 あいさつ 】  
それでは、諮問 17 号について事務局の説明をお願いします。  
事務局 【平成 27 年 3 月 9 日付け諮問第 17 号の説明】  
会長 事務局の説明が終わりました。何かご意見等ございませんか。  
会長 目標値が示されているが、例えば環境学習を 12 の学校が全て実施してい  
るとなると、それ以上増えないということになるが、これで定着したと  
するのか。

- 事務局 次の段階として、学校内での学習時間数や内容を計画段階で報告いただけるようにしたい。
- 会長 20年以上の公用車を今年は何台変えるのかという目標をあげてやるほうがいいのか。率、何パーセント達成したとするほうがいい。
- 委員 公用車の走行距離は管理していると思うが、走行距離に対して燃料をどれくらい使ったかを計算したほうがいい。単に仕事が増えて燃料も減らなかったというのではない分析が必要なのでは。
- 委員 絶滅危惧種のデータを解析された方がいい。近隣では600から800頭捕獲しているあらいぐまの数が加東市は少ない。猟友会の会員も高齢化し、捕獲数が減ってくると繁殖能力が高いので、3年ほどするとかなり増えている。
- 会長 猟友会メンバーも減ってきているのか。
- 委員 高齢化に加えて会員数も減ってきている。私も会員ですが、以前は捕らえた動物を東条庁舎まで持ち込むことができていたが、今は社まで持ち込まなければならないので遠い。
- 委員 各地域から社まで市が搬送してくれればいいが。
- 委員 今、各地区にあずけてある檻のエサを変えたり、場所を変えるなど、もう少しPRした方がよい。
- 会長 檻は地区からの要望で置いているのか、自主的に置いているのか。
- 委員 地区から台数の希望を出している。
- 会長 地区の方でも管理があまりされていないようですので、やはり、PRをする必要がある。
- 委員 耕作放棄地の数値は年々減っているようだが、実際には5年、10年先には農業を続けていけないような状況である。何か対策をしないといけないと将来大変なことになる。
- 委員 山際の田に放棄地が多く見られる。営農組合で管理されているところはいいが、若年層の農業への意欲がないので仕方がない。数字は減っているが、今後増えていく可能性は高い。

委員 あらいぐまや猪、鹿など、耕作放棄地が増えれば増えるほど人里へ出やすくなってくる。最近は道路際まで草が生えているので、道路まで出てきて車にぶつかることが多い。

会長 個人の山に多いのか。

委員 一概には言えないですが、全面的ですね。  
猟友会でも罠を仕掛けたりしているが、年をとった猪はかかりにくいので、減らす方法しかない。

会長 山の草刈りは大変ですね。

委員 ほとんどされていないですね。

会長 ほかがご意見はありませんか。  
貴重なご意見をありがとうございました。この意見については、答申して今後を活かしていただきたいと思います。